

平成29年2月9日(木) 実施

平成29年度大学院法学研究科 特別選考による外国人修士課程入学試験問題

社会科学の基礎学力を試す論文試験(日本語で解答すること。)

受験番号	
------	--

(1) 問題冊子、下書用紙、すべての解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。(氏名は絶対に記入しないこと。)

問題 1 次の文章（飯田高『法と社会科学をつなぐ』有斐閣、2016年、pp.20・25 から）を読んで、次の問いに答えなさい。

文章非公開

文章非公開

文章非公開

文章非公開

問1 本文中の次の言葉の読みを書き、その意味を説明しなさい。

- ① 威容
- ② 至極真つ当
- ③ 代替案
- ④ 衡平

問2 「コンコルドの誤り」の心理現象の例を日常生活の中から一つあげなさい。(100字以内)

問3 著者は「よりよい意思決定を行いたいとすれば、過去にどれだけ投資したかは考慮すべきでない」と書いているが、この主張に対する可能な反論を
考えて検討しなさい。(250字以内)

問題2 次の文章（小泉良幸『個人として尊重——われら国民』のゆくえ』勁草書房、2016年、pp.159・163から）を読んで、次の問いに答えなさい。

文章非公開

文章非公開

文章非公開

問1 本文中の次の言葉の読みを書き、その意味を説明しなさい。

- ① 煩を厭わず
- ② 質料となる語彙
- ③ 人種憎悪を助長する

問2 「危害原理」および「法的モラリズム」と呼ばれる思想は、本文で言及されるさまざまな観点の中のどれに調和すると考えられるか。(150字以内)

問3 ドウオーキンによると「道徳的独立性の原理」の否定が「人格の複数性と平等性の否定に直結する」とされる理由を述べなさい。その際に「複数性」と「平等性」のいずれにも注意すること。(200字以内)